
推薦入試に関するQ&A

《入試日程・募集人員について》

※入試要項をご覧ください。

《出願資格について》

➤ 評定について

質問1 推薦の出願条件となる評定に届くか分からないのですが、学力の学校間格差を考慮に入れた措置はありますか。

回答1 ありません。基準をクリアしていなければ、出願していただくことはできません。

質問2 評定が高い方が合格しやすいですか。

回答2 適性検査や面接等で同点になった場合は、評定の高い方が有利になります。

質問3 基準の内申点に1点届かないのですが、英検で何級を取っていれば加点してもらえますか。

回答3 英検などで優れた級を取得していても、内申点の基準に満たない方は出願できません。

質問4 評定とは、中学3年の1・2学期の9科目合計を指しますか。それとも中学1年～3年2学期までのすべての評定の平均を指しますか。

回答4 中学3年1・2学期の9教科の総合成績です。

質問5 出願資格に「9教科の5段階評定の合計が40以上の者」とありますが、実際にはもっと高い基準であって、基準ぎりぎりの評定では足切りされるということがありますか。

回答5 そのようなことはありません。

質問6 中学1年まで海外現地校に在籍し、2年次から国内の公立中学校に編入しました。一部教科にハンディキャップがあり、結果として「9教科の5段階評定の合計が40以上」という基準に達しない場合、何らかの考慮はされるのでしょうか。

回答6 個別の考慮はいたしません。

➤ 欠席日数について

質問1 学校の体育の授業で怪我をしたために入院し、欠席日数が基準を超えてしまったのですが、推薦の出願資格はありますか。

回答1 学校で起きた怪我が原因で入院しても、欠席日数が基準を超えている場合は、出願資格がありません。

質問2 出欠の記録は、12月のどの時点までの欠席日数を記入すればよいですか。担任が成績をつける日までの欠席日数ですか。それとも、終業式までの欠席日数ですか。

回答2 12月の登校するべき最終の日までの日数をご記入ください。

➤ 推薦入試の併願について

質問1 出願資格のところに「本校を第一志望とする」と書いてありますが、他校を併願で受験することはできますか。

回答1 他校を受験することは可能ですが、本校に出願した場合には①必ず本校を受験すること、②合格の際には必ず入学をすること、が条件となります。この2つの条件を確約するものとして、学校長からの推薦書を提出していただいています。

質問2 推薦入試に出願しながら、他校も受験して合格した場合、受験を取りやめるという選択はできますか。

回答2 できません。出願資格に「本校を第一志望とする」という条件がありますので、受験をしない、という選択肢はありません。

➤ 高校併設の私立中学・中等教育学校からの出願について

質問1 推薦入試への出願が可能とのことですが、特別に必要な書類はありますか。

回答1 ありません。推薦の出願資格を満たし、在籍する中学校からの推薦書類が整えば、出願することができます。

質問2 親の転勤のため、地方の中高併設の私立から入学したいのですが、推薦の出願資格はありますか。

回答2 あります。在籍する中学校が全国どこであっても、出願基準は同じです。

➤ インターナショナル校からの出願について

質問1 インターナショナル校に通っているのですが、推薦入試の出願資格はありますか。

回答1 インターナショナル校の方には推薦入試の出願資格はありません。

≪調査書・推薦書・作文について≫

➤ 調査書について

質問1 生徒会長や検定・資格はどのように評価されますか。

回答1 可否の判断に関わることなのでお答えできませんが、「自分の魅力だ」と思われるものはすべて調査書に記入してもらえよう、担任の先生にお願いしてください。

質問2 学外で〇〇といった活動をしているのですが、調査書に記入しても構いませんか。

回答2 「自分の魅力だ」と思われるものはすべて調査書に記入してもらってください。書くべきか悩んだときは書いてもらうことをおすすめします。学外での活動は「特記事項」の欄に記入してもらってください。

質問3 中学1～3年生の評定を記入するのはどうしてですか。出願資格に関係があるのは、2,3年生の評定だけですか。

回答3 出願資格に関係する評定は、2,3年生の評定のみです(3年次の評定合計と、2,3年次に「2」以下がないこと)。全学年の評定を記入してもらっているのは、志願者がどのような中学校生活を送ってきたのかを参照するためです。

➤ 推薦書について

質問1 推薦書は現在の学校の先生に記入してもらわなくてははいけませんか。転校してきたばかりなので、以前通っていた学校の先生に書いてもらいたいのですが。

回答1 転校などの理由により、現在在籍している学校で過ごしている日数が短く、自分のことをよく知っている前の学校の先生に推薦書を書いてもらいたい場合は、それも可能です。

※注意 推薦書を別の学校の先生に書いてもらうときは、その先生が書いた推薦書を現在通っている中学校に 厳封で 送付してもらい、推薦書の原本と同封して提出していただく必要があります。

質問2 昨年担任だった先生が現在は教育委員会で働いているのですが、その先生に推薦書を書いてもらうことはできますか。

回答2 できません。推薦書は、現在教職に就いている先生に記入してもらってください。

質問3 推薦書は退職した先生に書いてもらってもよいですか。

回答3 退職した方には推薦書を書く資格がありません。現職の先生に記入していただいでください。

質問4 推薦書は、①～③の欄をすべて同じ先生に書いてもらわなくてははいけませんか。

回答4 すべて違う先生に記入してもらっても構いませんし、同じ先生に記入してもらっても構いません。

質問5 「志願者をよく知る教員」が外国人の場合はどうにしたらよいですか。

回答5 日本語訳したものを本校所定の用紙にお書きください。また、原文を添付してください。

➤ 作文について

質問1 今年度の作文のテーマを教えてください。

回答1 作文のテーマは、本校ウェブサイトよりダウンロードしていただく原稿用紙(9月上旬に掲載)に書いてありますので、そちらをご覧ください。

質問2 作文は合否に関係ありますか。

回答2 作文の内容によって直接合否が決まるわけではありませんが、適性検査・面接・書類審査によって総合的に合否を判断するので、一つの要素としてももちろん関係があります。

質問3 作文を書くときのポイントを教えてください。

回答3 あなたの考え方や活動が分かるように、1つ(多くても2つ)のテーマについて深く掘り下げ、論理的に書いてください。誤字脱字にも注意しましょう。

質問4 作文に書いてあることから面接で質問されるのですか。

回答4 作文の内容についても質問しますし、調査書や推薦書に記載されていること、その他のことについても質問します。

質問5 作文を清書しているときに漢字を間違えてしまいました。訂正印で訂正するべきですか。

回答5 訂正印は必要ありません。修正テープで消していただいても構いません。

《面接について》

質問1 面接はどのような形式で行うのですか。

回答1 面接委員2名の個人面接で、時間は10分程度です。面接の時間は入試当日の適性検査後にお知らせします。面接が午後になる受験生もいるので、昼食を持参してください。

質問2 面接ではどのようなことを聞かれますか。

回答2 面接では、調査書・推薦書・作文に記載されていることについて質問することが多いです。もちろん、記載されていないことに関しても質問します。

《適性検査について》

質問1 適性検査の時間や解答の形式を教えてください。

回答1 国語(古典除く)・数学・英語(リスニングなし)の3教科を60分間で解いてもらいます。3教科の時間配分は受験生に任せられ、こちらから指示はいたしません。回答はマークシート形式です。

質問2 適性検査には教科ごとに合格最低点があるのですか。

回答2 具体的な点数はお答えできませんが、各教科とも合格最低点を設けています。

質問3 適性検査の過去問を公表していないのはなぜですか。

回答3 推薦入試は、学力だけではなく、学習面以外にも魅力のある生徒に入学してほしいと考えて作られた入試方式だからです。適性検査は本校における学習に必要な基礎学力を確かめるもので、特に受験準備を必要とする出題内容ではありません。

質問4 適性検査の問題の難易度はどれくらいですか。

回答4 中学校で学んだ内容が定着しているかどうかを問うレベルの問題です。

質問5 適性検査の対策を教えてください。

回答5 難解な応用問題よりも基礎的な問題を確実に解けるような練習をすることです。また、普段から時間配分を自分で考え、正確かつスピーディーに問題を解く練習をすることです。

《合否・補欠合格について》

➤ 合否について

質問1 適性検査・面接・書類審査のうち、一番ウェイトが大きいのはどれですか。

回答1 本校の推薦入試で入学してほしい生徒像は、「学力」・「人間的魅力」・「基本的な生活習慣」のすべてを兼ね備えている人です。適性検査・面接・書類のどれも大切です。

質問2 推薦入試では、補欠合格を出していますか。

回答2 出していません。

質問3 推薦入試に合格したあと、他の高校に入学を決めてもかまいませんか。

回答3 推薦入試には「本校を第一志望とする」という条件がありますので、合格後の入学辞退はできません。

➤ 推薦入試と一般入試の併願について

質問1 推薦入試を受けたのちに一般入試を受験すると有利になりますか。

回答1 一般入試において補欠となった場合は、優遇する場合があります。

《入学手続きについて》

➤ 入学金・施設設備料の延納について

質問1 入学金・施設設備料は延納できますか。

回答1 推薦入試の場合は、本校が第一志望のため延納できません。

➤ 一般入試と併願している場合の入学検定料について

質問1 推薦・一般を併願しているのですが、推薦入試で合格した場合、一般入試の入学検定料はどうなりますか。

回答1 推薦入試で合格し、入学金及び施設設備料を納付した場合、推薦入試の入学手続き時にお渡しする書類に従って願い出ることにより、一般入試の入学検定料(事務手数料を除く)を後日お返しいたします。

《その他》

➤ 推薦入試と帰国生入試について

質問1 推薦入試と帰国生入試はどちらが入りやすいですか。

回答1 入試方式の特徴が異なります。自分の魅力をより発揮できると思う方式で受験してください。

➤ 事前の入試相談について

質問1 事前の入試相談を行っている学校もあるようですが、そのような入試相談はありますか。

回答1 事前の入試相談(打診)は行っていません。

本校の推薦入試は公募制推薦入試のため、適性検査・面接・書類審査によって総合的に合否を決めています。

質問2 学校説明会などの入試相談に模擬試験の結果を持参すると、アドバイスをもらえますか。

回答2 そのようなご相談はご遠慮いただいております。

➤ 推薦入試の欠席について

質問1 推薦入試を欠席した場合、どうなりますか。

回答1 推薦入試の出願資格に「本校を第一志望とする者」という条件があるため、出身中学校長から本校へ、欠席理由書を提出していただきます。